

一般社団法人函館国際観光コンベンション協会

令和7年度事業報告

令和7年度の函館観光は、一昨年アニメ映画公開に伴う爆発的な「聖地巡礼」需要の反動が懸念されましたが、結果として、上半期の延べ宿泊客数は280万6千人と過去最高を記録いたしました。下期においては、中国人観光客の動態変化を注視しつつも、過去最多のクルーズ船入港、韓国路線の復活、さらに羽田便の増便による念願のナイトステイの実現など、本市観光が極めて活況を呈した一年になりました。

当協会では、特別委員会による「今後の活動内容に関する提言書」を指針とし、市の観光基本計画と歩調を合わせながら、戦略的なプロモーションと受入体制の強化に邁進してまいりました。その中で重点目標として掲げた二つのKPIの実現に向け、第一の目標である「一人当たり平均宿泊数1.48泊」に関しては、温泉資源を活かした「ホッと函館！温泉チケット」が、航空会社のオプション商品に採用されるなど、滞在型コンテンツとして定着いたしました。また、青森県大間町との連携による「函館・大間まぐろきっぷ」は、海神参拝という新たな物語を提示し、国内外から予想を上回る反響をいただきました。

これら施策の効果もあり、平均宿泊数は令和6年度の1.29泊から、令和7年度上期には1.37泊へと確実に上昇し、目標達成への確かな足がかりを築くことができました。

第二の目標である「外国人宿泊者数年間100万人」については、上期実績が22万6千人と過去10年で最高となり、コロナ前の水準を上回りました。戦略面では、市場の多角化を見据え、東南アジアの新興市場であるインドネシア市場の開拓に具体的に着手しております。

また、本年4月からの「宿泊税」導入にあたりましては、その活用に向け、昨年度、会員の皆様からいただいたご意見を29項目の要望事項に取りまとめ、市へ提言し、その結果、要望の多くが本年度事業に採択されております。

一方、市観光部と当協会との組織改革につきましては、昨年度末に函館市長から協力要請を受け、現在、市との協議を進めているところです。

昨年度は当協会創立90周年という節目の年でもありました。村田茂樹観光庁長官をお迎えした記念式典を通じ、地域経済の牽引役として当協会が果たすべき責務の重さを改めて認識した次第です。

この活況を一過性のものに終わらせず、持続可能な観光都市・函館の確立に向け、令和8年度も会員の皆様とともに歩んでまいりたい所存です。

I 総務ホスピタリティ委員会関係事業報告

1 体制強化に向けた会員の拡大及びサービス事業に関する事項

(1) 会員の拡大

[会員異動状況]

	令和7年度 期首会員数	4月1日～3月31日		現会員数
		入会数	退会数	
正会員	407	11	16	402

①会員向け各種セミナーの開催

ア. 選ばれ続ける寄港地へ～船社から見た函館の魅力と課題～

期 日：令和7年7月22日

会 場：函館クルーズターミナル

講 師：郵船クルーズ株式会社 執行役員 村山公崇氏

内 容：郵船クルーズの歴史や「飛鳥Ⅲ」の特徴、クルーズ業界の今後の展望などについて講演



イ. 大間のまちおこしゲリラ流！脂っ濃いーおもてなし大作戦

期 日：令和7年9月16日

会 場：サン・リフレ函館

講 師：Yプロジェクト株式会社 代表取締役 島康子氏

内 容：大間町の観光振興のためにこれまで実践した様々な取り組みや、道南地域と青森県との連携について講演



ウ. 人材戦略のアップデート

期 日：令和8年2月12日

会 場：函館市亀田交流プラザ

共 催：函館市経済部

講 師：株式会社インディードリクルートパートナーズ
ジョブズリサーチセンター長 宇佐川 邦子氏

内 容：人材不足が深刻な経営課題となっている中、働き手の多様化に対応できる社内ルールの整備などの人材戦略について講演



②会員交流会の開催

期 日：令和7年10月28日

会 場：はこだてビール

内 容：会員相互の親睦を図るとともに、参加各社の企業PRの場の創出を目的として実施



(2) 自主財源の確保

① 着地型旅行商品の企画販売

ア. はこだてスペシャルチケット

- 内 容：「のりもの券」1枚と観光施設、飲食店、土産店などで利用できる「ポイント券」12枚をセットとするお得なチケット商品
販売期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
販売価格：3,500円（税込） ※令和7年12月1日より3,700円（税込）



イ. 函館西部地区ウェルネスパスポート

- 内 容：クロスバイクのレンタルと谷地頭温泉入浴券、協賛施設の割引をセットとするウェルネスな旅行商品
販売期間：令和7年4月9日～令和7年11月30日
販売価格：3,000円（税込）



ウ. 御護摩修行体験とホテル朝食ブッフェの朝活観光

- 内 容：御護摩修行体験とホテル朝食ブッフェによるウェルネスな朝活体験を提供する旅行商品
販売期間：令和7年4月1日～
販売価格：大人4,800円（税込） 小学生3,550円（税込）



エ. 函館・大間まぐろきっぷ

- 内 容：津軽海峡フェリー大間航路の往復チケット、大間飲食店で利用可能な昼食券、土産店で利用可能な割引券、本州最北端大間崎到着証明書をセットとする旅行商品
販売期間：令和7年6月20日～令和7年7月31日、
令和7年8月19日～令和7年11月28日
※上記期間の土日祝日を除いた平日（98日間）
販売価格：8,888円（税込）



オ. 名湯巡るホッと函館!温泉チケット

- 目 的：地域の豊富な温泉施設を活用した周遊促進による滞在時間の増加を目的に、函館市内の日帰り温泉施設を選択式で利用できる温泉チケットを造成、販売
内 容：1～3枚で利用できる施設を設定した「温泉ポイント券」4枚と、協力施設（飲食店等）での特典を受けられる「共通クーポン券」2枚をセットとするチケット商品
販売価格：1,800円（税込）
販売期間：令和7年11月1日～



(3) 当協会創立90周年記念事業の開催

- 期 日：令和7年11月5日
会 場：プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館
内 容：16:30 記念式典
17:00 記念講演会
講師：観光庁長官 村田 茂樹 氏
18:00 記念祝賀会



(4) 各種会合の開催（定時総会、正副会長会議、理事会、各専門委員会等）

- ①観光表彰選考委員会（令和7年4月22日）
- ②第1回正副会長会議（令和7年5月12日）
- ③第1回理事会（令和7年5月13日）
- ④定時総会・第2回理事会（令和7年5月29日）
- ⑤第2回正副会長会議（令和7年6月9日）
- ⑥第1回総務ホスピタリティ委員会（令和7年6月23日）
- ⑦第1回企画宣伝委員会（令和7年6月26日）
- ⑧第3回正副会長会議（令和7年8月29日）
- ⑨第3回理事会（令和7年9月2日）
- ⑩第2回総務ホスピタリティ委員会（令和7年9月2日）
- ⑪第2回企画宣伝委員会（令和7年9月4日）
- ⑫第4回正副会長会議（令和7年10月7日）
- ⑬第5回正副会長会議（令和7年10月14日）
- ⑭第3回総務ホスピタリティ委員会（令和7年10月30日）
- ⑮第3回企画宣伝委員会（令和7年10月31日）
- ⑯第6回正副会長会議（令和7年11月25日）
- ⑰第4回理事会（令和7年11月27日）
- ⑱第4回企画宣伝委員会（令和8年2月25日）
- ⑲第4回総務ホスピタリティ委員会（令和8年2月26日）
- ⑳第7回正副会長会議（令和8年3月25日）
- ㉑第5回理事会（令和8年3月27日）

(5) 観光客入込調査の実施

内 容：毎月月初に主要交通機関および観光施設の利用実績の聞き取り調査をおこない、当協会公式ホームページ「会員へのお知らせ」にて、会員へ情報を共有

(6) MICE 情報の収集および会員への情報提供

内 容：当市で開催のMICE情報について、企業・団体および受入施設に対し、広く調査を実施し、当協会公式ホームページ「会員へのお知らせ」にて、会員へ情報を提供

発 信：令和7年4月3日（第1回目情報提供）
令和7年10月1日（第2回目情報提供）

(7) 当協会公式ホームページ「函館みなみ北海道観光ガイド」による情報発信

- ①「お知らせ」：観光情報を収集、適宜発信
- ②「会員からのお知らせ」：当協会会員企業に関する情報発信
- ③「会員へのお知らせ」：当協会事務局より会員に対しての関連情報発信



2 受託観光施設の管理、運営に関する事項

(1) 函館市観光案内所の管理運営

	4月1日～3月31日		
	令和7年度(A)	令和6年度(B)	増 減(A-B)
函館市観光案内所来所人員(人)	99,516	179,841	▲80,325

※令和6年度は、4月12日～9月30日開催の『函館×劇場版「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」公開記念コラボイベント「函館まち巡りスタンプラリー」』等により来所人員が激増

3 各関係機関との連絡調整、交流事業に関する事項

(1) 各種団体・事業への参画

青森・函館ツインシティ推進協議会	市民創作函館野外劇の会
新函館北斗駅広域観光推進協議会	道南縄文文化推進協議会
道南台湾観光友好協会	箱館会
函館空港の運営に関する協議会	はこだてクリスマスファンタジー実行委員会
はこだてグルメワンダーパーク実行委員会	函館港利用促進協議会
函館×ゴールデンカムイ特別イベント実行委員会	箱館五稜郭祭協賛会
箱館五稜郭祭実行委員会	函館市海外観光客誘致促進協議会
函館市競輪運営協議会	函館市住宅都市施設公社
函館市縄文遺跡群保存活用協議会	函館市西部地域振興協議会
函館商工会議所観光・飲食・サービス部会	函館シンガポール協会
箱館高田屋嘉兵衛顕彰会	函館の街をきれいにする市民運動協議会
はこだてフィルムコミッション	はこだてフードフェスタ実行委員会
はこだて冬フェスティバル実行委員会	函館マラソン大会協賛会
函館マラソン大会実行委員会	函館港まつり実行委員会
北海道観光機構	北海道新幹線建設促進道南地方期成会
北海道 MICE 誘致推進協議会	北海道旅行業協会
湯の川温泉花火大会実行委員会	湯の川冬の灯り実行委員会

(2) 各イベントの推進

①開港 166 周年記念函館港まつりの開催

期 間：令和 7 年 8 月 1 日～5 日

主 催：函館港まつり実行委員会（事務局：当協会）

内 容：道新花火大会を皮切りに、ワッショイはこだてを 2 日間開催したほか、期間中の露店出店などを実施



②2025 はこだてクリスマスファンタジーの開催

期 間：令和 7 年 11 月 29 日～12 月 25 日

主 催：はこだてクリスマスファンタジー実行委員会（事務局：当協会）

内 容：イベントのシンボルである巨大クリスマスツリーを赤レンガ倉庫群前海上に設置し、期間中、毎日花火の打ち上げの演出による点灯式を実施したほか、スーパー店舗の出店を実施



③2026 はこだて冬フェスティバルの開催

期 間：令和 7 年 11 月 29 日～令和 8 年 3 月 31 日

主 催：はこだて冬フェスティバル実行委員会（事務局：当協会）

内 容：八幡坂や開港通りをイルミネーションで彩る「はこだてイルミネーション」や 2 月の毎金土曜日に「はこだて冬花火」を実施したほか、新たな取り組みとして函館駅から松風町電停までの電車通り沿いをイルミネーションで装飾



(3) 松前さくらまつりへの参加

期 日：令和7年4月19日

内 容：北海道まつまえ観光物産協会との交流を目的に、同町最大のイベントのひとつである同祭開会式に参加



(4) チェジュ航空就航記念セレモニー・初便お出迎えイベントへの参加

期 日：令和7年6月5日

内 容：新たに就航したチェジュ航空の初便のお出迎えイベントおよび就航記念セレモニーに参加し関係者および乗客の歓迎をおこなった



(5) 近隣観光協会との意見交換会の実施

期 間：令和7年7月24日～25日

訪問先：北海道まつまえ観光物産協会、江差観光コンベンション協会
七飯大沼国際観光コンベンション協会

内 容：当協会の役員体制変更による挨拶および「今後の活動内容に関する提言書」にて今後の活動内容として示されている地域連携強化を目的に道南地域の主要観光協会を訪問



(6) 姥神大神宮渡御祭への参加

期 日：令和7年8月10日

目 的：江差観光コンベンション協会との交流を目的に、北海道最古の祭りである姥神大神宮渡御祭に参加



4 観光関係者の資質向上に関する事項

(1) 観光事業関係者の表彰

① 定時総会における表彰

期 日：令和7年5月29日

会 場：函館国際ホテル

対 象：① 観光事業優良従業者賞（勤続20年以上） 4名

② 観光事業優良従業者賞（勤続10年以上） 4名



② 当協会創立90周年記念事業における特別表彰

期 日：令和7年11月5日

会 場：プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館

対 象：いか踊り実行委員会



(2) シンポジウム「函館空港の可能性とさらなる航空ネットワークの充実」の開催

目 的：今後、函館・道南地域として、より一層インバウンドの受け入れ拡大を図るために、取り組むべき課題を明確にするとともに、函館空港のさらなる充実を図り、南北海道が世界に向けて発信力を高めることを目的として開催

期 日：令和7年8月23日

会 場：函館競輪場

主 催：函館市、函館商工会議所、当協会、北海道エアポート株式会社

内 容：・講演① 講師：国土交通省航空局航空ネットワーク部長 田口 芳郎 氏
・講演② 講師：北海道エアポート株式会社代表取締役社長 山崎 雅生 氏
・パネルディスカッション



5 観光客及びコンベンション受け入れに関する事項

(1) コンベンション受け入れ支援

内 容：当市で開催されたコンベンションに対し、歓迎看板および電子歓迎看板の設置などによる歓迎を実施

期 間	名 称	規 模
5月22日	全珍連創立60周年記念式典並びに第6回全国珍味大会	250人
6月13日～14日	第57回道央支部フォークダンス大会	250人
6月29日	2025 函館マラソン	8,000人
8月12日～17日	第68回オールスター競輪GI	33,463人
8月28日～31日	第16回ニトリレディス	11,000人
10月8日～10日	トライボロジー会議2025秋 函館	750人
10月17日～19日	第27回全国ソフトバレー・レディースフェスティバル in 函館	350人
11月1日～2日	第29回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 函館・北海道	330人

(2) クルーズ客船受け入れ対応

内 容：函館港に入港したクルーズ客船歓迎セレモニーへの参加

入港日	船名	乗客乗員数
4月9日	シーボーン・クエスト	788名
4月18日	バイキング・エデン	1,475名
4月28日	アンセム・オブ・ザ・シーズ	5,680名
4月29日	リビエラ	2,050名
7月22日	飛鳥III	1,210名
7月29日	アドラ・マジック・シティ	5,650名
8月7日	オデッセイ	1,021名
8月11日	アドラ・メディタラニア	3,011名
10月30日	スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	5,797名
11月1日	ノルウェージャン・サン	2,842名

(3) 函館山登山道渋滞対策に係る意見交換会への参加

期 日：令和7年4月25日

会 場：函館市役所

内 容：函館山登山道の夜間交通規制未実施時期における混雑状況の確認や、交通関係各社による意見交換を実施

6 函館市への事業要望

(1) 函館市令和8年度事業並びに宿泊税充当事業に対する要望書の提出

内 容：函館市の予算編成にあわせて観光業界の要望を伝えるという提言書の内容に従い、また、函館市より当協会に観光事業者の代表的な団体として宿泊税充当事業に対する意見徴収があったことから、会員企業よりご意見をいただき、正副会長でこれを協議・整理したうえで、要望書を提出

期 日：令和8年1月14日



II 企画宣伝委員会関係事業報告

1 国内プロモーション事業

(1) ウェルネスツーリズム推進事業

期 間：令和7年5月26日（採択日）～令和8年2月27日

協 力：(公社)北海道観光機構「伴走支援型観光地域力強化推進事業」

内 容：ウェルネスツーリズムという視点で当市観光の魅力を発信することで、
新たな旅行客層の獲得を目指す

①旅行商品「函館西部地区ウェルネパスポート」の販売

(総務ホスピタリティ委員会関係事業報告から再掲)

期 間：令和7年4月11日～11月30日

価 格：大人3,000円(税込)

内 容：レンタサイクル、谷地頭温泉入浴、協賛施設でのサービス提供

②旅行商品「御護摩修行体験とホテル朝食buffetの朝活観光」の販売

(総務ホスピタリティ委員会関係事業報告から再掲)

期 間：令和7年4月1日～(通年販売)

価 格：大人(中学生以上)4,800円(税込)／小学生3,550円(税込)

内 容：成田山函館別院函館寺 御護摩修行体験、

プレミアムホテル-CABIN PRESIDENT-函館 朝食buffet

③旅行商品「函館・大間まぐろきっぷ」の造成・販売

(総務ホスピタリティ委員会関係事業報告から再掲)

期 間：令和7年6月20日～7月31日、8月19日～11月28日

価 格：大人8,888円(税込)

内 容：津軽海峡フェリー「函館大間航路スタンダード等級往復乗船」、

大間まぐろの昼食、大間土産10%OFF券、本州最北端大間崎到着証明書

④旅行商品「御護摩修行体験とホテル朝食buffetの朝活観光」のPRチラシの制作、配布

制作数：4,000枚

配布先：函館市観光案内所や交通関係事業者等

⑤「函館西部地区ウェルネスツーリズム」コンテンツページの繁体字版ウェブページ制作

公 開：令和7年9月22日

内 容：これまで国内向けに発信してきた旅行商品を含む情報について、台湾向けに発信を開始

⑥旅行商品「函館西部地区ウェルネパスポート」

「御護摩修行体験とホテル朝食buffetの朝活観光」の繁体字版PRチラシの制作、配布

配布日：令和7年9月25日

制作数：各4,000枚

配布先：函館市観光案内所、交通関係事業者、市内宿泊施設等

⑦PV動画による情報発信

配 信：令和7年11月2日～

内 容：台湾向けに①②③の旅行商品を紹介するPV動画を制作し、配信

⑧台湾人インフルエンサーによる情報発信

撮 影：令和8年1月22日・23日

内 容：台湾人インフルエンサーである瓶顛(ピンク)氏を招聘し「御護摩修行体験とホテル朝食buffetの朝活観光」等を体験したリール動画を公開

⑨「御護摩修行体験とホテル朝食buffetの朝活観光」販売促進プロモーション

期 間：令和8年2月6日～3月8日

内 容：商品認知度向上および販売促進を目的とした2割引キャンペーンを実施



(2) 千葉県君津市中学校へのプロモーション

期 日：令和7年7月17日

訪問地：千葉県君津市

参加者：事務局

内 容：千葉県君津市の公立中学校2校が、京都・奈良からの方面変更を考えているとの連絡を受け訪問し、同市公立中学校7校の校長と市教育委員会に向けた教育旅行説明会を実施した結果、2校の2年後の来函が決定

(3) 東京へのプロモーション

①旅行会社へのセールスコールの実施

期 日：令和7年8月26日・28日

訪問地：東京都

内 容：はこだてスペシャルチケット取り扱い企業への御礼、情報交換、及び、
当市観光PRを目的に旅行会社を訪問

②北洋銀行観光商談会への参加

期 日：令和7年8月27日

開催地：東京都

内 容：企画宣伝委員の参加協力のもと、北洋銀行主催の商談会に2ブースを展開、
各8社との商談を実施し、当市観光、及び、参加企業のPRを実施



(4) 板橋区立中学校へのプロモーション

期 日：令和7年8月28日

訪問地：東京都板橋区

参加者：事務局、北海道旅客鉄道(株)東京営業部

内 容：板橋区立の中学校が、京都・奈良からの方面変更を考えており、北海道新幹線を利用した函館への
行程について問い合わせを受けた為、JR北海道とともに訪問した結果、2年後の来函が決定

(5) 阪急交通社商談会への参加

期 日：令和7年9月3日

訪問地：札幌市

内 容：阪急交通社北海道地区担当が集まる商談へ参加し、平均宿泊日数増加に
向けPRを実施



(6) 板橋区立中学校への御礼訪問

期 日：令和7年10月28日

訪問地：東京都板橋区

参加者：事務局

内 容：令和7年8月にプロモーションを行った中学校が2年後の教育旅行を函館に決定したとの連絡を受
け、御礼の訪問及び意見交換

(7) 卒業旅行誘致プロモーション

期 間：令和7年12月19日～令和8年3月31日

協 力：(公社)北海道観光機構道南地域分科会「地域提案事業」

内 容：「卒旅×函館キャンペーン2026」として当市観光閑散期である1月から
3月に需要が最大となる卒業旅行の学生の誘致を目的に、会員施設との連
携のもと、卒業旅行向けのお得な宿泊プランの造成や特典クーポンの制作
を行い、じゃらんnet「じゃらんニュース」への記事出稿や、ウェブサイト
ト、SNSを活用した発信による周知を通じた誘客促進を図る



①宿泊施設との連携による卒業旅行を対象とする宿泊プランの造成、販売

期間：販売期間 | 令和7年12月19日～

宿泊期間 | 令和8年1月21日～3月31日

参加数：宿泊施設 23 施設

内容：市内宿泊施設の協力のもと、市電1日乗車券、特典クーポン、施設独自特典を設定した、卒業旅行限定のお得な旅行プラン【卒旅函館】を造成し、じゃらんnetにて販売



②観光関連施設との連携による卒業旅行を対象とする特典クーポンの制作、配布

期間：令和8年1月21日～3月31日（※利用期間は4月4日まで）

参加数：交通、観光施設、体験施設、飲食店、土産店の計17施設

内容：市内観光関連施設の協力のもと、参加施設の特典を集めたクーポンを制作し、卒業旅行の学生限定で配布



配布元：宿泊プラン【卒旅函館】販売施設

③じゃらんnet「じゃらんニュース」記事配信による周知促進

期間：令和7年1月21日～2月25日

内容：じゃらんnet「じゃらんニュース」にPR記事を掲載し、特設ページ及び、宿泊プラン購入ページへの誘導を図る



④Instagram 広告配信による PR の実施

期間：令和7年12月26日～令和8年1月8日

内容：当プロモーションの周知を目的として、Instagram 広告を配信



⑤函館朝市特別企画との連携

内容：当キャンペーンと同期間で実施される函館朝市特別企画と相互PRを実施



(8) 北海道観光機構「北海道教育旅行説明会・相談会」への参加

期日：令和7年12月16日・17日

訪問地：大阪府、東京都

内容：関西圏からの来函が増えていることを受け大阪をターゲットとするとともに、継続して関東圏へのプロモーションを実施



(9) 函館港利用促進協議会トップセールスへの参加

期日：令和8年2月17日～18日

訪問先：(株)ジャパネットトウリズム

内容：毎年多数の函館港寄港実績があるチャーターラーへのトップセールスに参加



2 海外プロモーション事業

(1) 北東北三県・北海道ソウル事務所主催「韓国観光商談会 2025」への出展

期日：令和7年9月9日

訪問地：韓国ソウル特別市

内容：函館及び道南地域を周遊する新たな旅行商品造成を目指し、現地旅行会社へのPRを実施



(2) 「台湾国際旅行博 ITF2025」北海道ブースへの参加

期日：令和7年11月8日・11月9日

訪問地：台湾台北市

内容：ウェルネスツーリズム推進事業の目標としている台湾市場の開拓を進める為、PRを実施



(3) 台湾旅行会社へのセールスコールの実施

期 日：令和7年11月10日・11日

訪問地：台湾台北市

内 容：高い来函実績を誇る台湾へ継続的な送客の確保を目的に、
現地エージェント8社を訪問し、情報収集およびPRを実施



(4) インフルエンサーを起用したインドネシアへの冬期観光情報発信

撮 影：令和8年2月21日・22日

内 容：インドネシア人インフルエンサーである Diera Nathania（ディエラ・
ナタニア）氏を招聘し、冬季観光の魅力を広く一般に発信することを
目的に動画を公開



(5) インドネシア旅行会社等ファミトリップ

期 間：令和8年2月27日～3月2日

協 力：(公社)北海道観光機構道南地域分科会

訪問地：函館市、七飯町、鹿部町

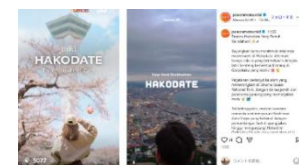
内 容：インドネシア旅行会社等4社4名を招聘。インドネシア観光客からの
需要が高まる冬期に近隣自治体も含めた観光スポット・宿泊施設を
3泊4日の行程で紹介



(6) インドネシア現地メディアを活用した情報発信

協 力：(公社)北海道観光機構道南地域分科会

内 容：インドネシア旅行会社等2社のSNSプラットフォームを活用し、
インドネシア個人旅行者向けにPRを実施



3 情報発信事業

(1) SNS 公式アカウントによる情報発信

- ①X
- ②Instagram
- ③YouTube
- ④Facebook



(2) FMいるか「モット青函！ツイン・レディオ！」を活用した情報発信

期 間：令和7年4月1日～

放 送：毎週金曜日 16:20～16:30（10分番組）

内 容：青函同時放送のラジオ番組を活用し、イベント情報の発信や当協会
SNSキャンペーンの告知等を行う



(3) 函館みなみ北海道の桜観光PRを目的としたInstagramキャンペーンの実施

期 間：令和7年4月18日～5月11日

内 容：Instagram上に多くの魅力的な函館、及び、道南地域の桜の写真の投稿
を促すことを目的にキャンペーンを実施



(4) 函館みなみ北海道の夏観光 PR を目的とした Instagram キャンペーンの実施

期 間：令和7年7月18日～8月31日

協 力：JR 北海道函館支社

内 容：Instagram 上に多くの魅力的な函館、及び、道南地域の夏景色の写真の投稿を促すことを目的にキャンペーンを実施。

また、2026年3月26日の北海道新幹線10周年への機運を高めることを

目的に、JR 北海道函館支社協力のもと特別賞を設け、新幹線車両等の写真も募集した



(5) 連泊需要喚起のための情報発信

期 間：令和7年8月21日～12月11日

協 力：(公社)北海道観光機構道南地域分科会

内 容：函館を起点にしたモデルコースを造成し、ウェブページでの紹介、PV 動画制作・配信を実施

制作数：モデルコース5件、PV 動画4件



(6) 函館みなみ北海道の紅葉 PR を目的とした Instagram キャンペーンの実施

期 間：令和7年10月17日～11月10日

内 容：Instagram 上に多くの魅力的な函館、及び、道南地域の秋の写真の投稿を促すことを目的にキャンペーンを実施



(7) 函館みなみ北海道の雪景色 PR を目的とした Instagram キャンペーンの実施

期 間：令和7年11月29日～令和8年3月8日

内 容：Instagram 上に多くの魅力的な函館、及び、道南地域の雪の写真の投稿を促すことを目的にキャンペーンを実施

